

令和5年度保健科学部 作業療法学科 4学年 シラバス

哲学	・・・P1～
日本国憲法	・・・P4～
英語Ⅲ	・・・P7～
チーム医療Ⅱ（演習）	・・・P10～
卒業研究	・・・P13～
作業療法総合演習	・・・P15～
臨床技能実習Ⅲ	・・・P19～
作業療法発展領域論	・・・P23～
地域作業療法学実習	・・・P26～
臨床実習Ⅴ	・・・P31～

科目名 : 哲学
英語名称 : Philosophy
担当責任者 : 福田俊章
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 人間は人間であるかぎり誰でも、考えることをやめない。そして、哲学するとは「みずからよく考える」ことに外ならない。「哲学への最良の入門は自分で問題を立てること、自分でその問題を考えることだ」と言われるのも、そのためである。この授業では、そうした営みの事例に触れることで、各人が「みずからよく考える」ようになることを目指したい。

学習目標 : 「いい哲学者になるためにたった一つ必要なのは、驚くという才能だ」（『ソフィーの世界』）と言われるのはどうしてか。「哲学を馬鹿にすることこそ、真に哲学することである」（パスカル）、「人は決して哲学を教わることが出来ず、たかだか哲学するのを学ぶことが出来るだけである」（カント）とはどういう意味か。こうした問題意識に触れることによって、哲学的な思索態度を身につける。
1 ヨーロッパ古代の哲学 2 ヨーロッパ中世の哲学
3 ヨーロッパ近代の哲学 4 現代哲学の諸問題

テキスト : 教科書は特に用いない（特定の模範解答を習い覚えることが授業の目的ではないからである）。

参考書 : 木田 元『反哲学史』講談社学術文庫、2000年 書名にある通り、古代から現代までの西洋哲学の歴史を時間軸に沿って叙述したもの
麻生博之・城戸 淳編『哲学の問題群 もういちど考えて見ること』ナカニシヤ出版、2006年 こちらは心身問題や他我認識、決定論問題などテーマごとに議論を展開したもの
その他適宜資料を配付するとともに、参考文献の紹介に努めたい。

成績評価方法 : (1) 授業への出席や授業中の討論への参加態度を中心に評価する。授業中の討論では、積極的に討論に参加しようとする態度を求めたい。

その他 : 自分の頭でものを考える機会と考えて御参加ください。授業時間が6
メッセージ等 : 0分と短い分、むしろ学生の皆さん自身に考えてもらう機会を増やしたいと思っています。

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	10月30日	7	駅前	福田俊章	「知を愛する」こと、ロゴスの探求としての哲学
2	11月6日	7	駅前	福田俊章	古代ギリシアの自然哲学 存在と生成変化、水は水のまま水以外のものになる？
3	11月13日	7	駅前	福田俊章	ソクラテス 「無知の知」、「知らない」ということをどうして知っているのか？
4	11月30日	4	駅前	福田俊章	プラトン イデア論、ただちょっと「忘れていた」だけ？
5	11月30日	5	駅前	福田俊章	アリストテレス イデア論批判 梅は梅らしく、桜は桜らしく？
6	12月7日	4	駅前	福田俊章	ヘレニズムとヘブライズム 世界は初めからあったのか、それともだれかが創ったのか
7	12月7日	5	駅前	福田俊章	ヨーロッパ中世の哲学と宗教 信仰と理性は両立するのか？
8	12月14日	4	駅前	福田俊章	近代哲学の幕開け 人権思想と近代的自然科学とに通底するものは？
9	12月14日	5	駅前	福田俊章	デカルト 「我思う、故に我あり」、私に心はあるのか？
10	12月21日	4	駅前	福田俊章	大陸「合理論」と英国「経験論」 我々人間の知識は何に由来するのか？
11	12月21日	5	駅前	福田俊章	カント 「我々の認識は経験と共に始まるが、だからと言って経験にもとづいて生じるわけで
12	1月11日	4	駅前	福田俊章	心身問題 相互作用説と随伴現象説、テレパシーは心の存在を証するか？

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月11日	5	駅前	福田俊章	人格の同一性 身体説と記憶説 記憶と身体どちらが入れ替わったのか？
14	1月18日	4	駅前	福田俊章	科学の科学性 検証と反証、反証不可能な主張は科学的か？
15	1月18日	5	駅前	福田俊章	神の存在証明 完全無欠な存在者は必ず存在するか？

科目名 : 日本国憲法
英語名称 :
担当責任者 : 元井貴子
開講年次 : 年 期 単位 授業形態 :
必修・選択 :

概要 : 本科目では日本国憲法に関し、命との関りという視点から講義を行う。生まれる命に関しては、赤ちゃんポストの問題を取り上げる。他方で、失われる命に関しては、安楽死・尊厳死や死刑制度を取り上げる。また、海外では戦争によって命が失われる事態が発生しており、日本も国民の命を守るために憲法9条改正の議論が盛んになっている。そこで、失われる命に関するものとして憲法9条問題も取り上げ、日本の防衛について学んでいく。更に、PBL（課題解決型学習）も取り入れ、最終日には各自で興味のある社会問題につき調査検討等をし、自身の研究結果を共有する。

学習目標 : 1.現代の憲法問題を理解できる 2.憲法問題につき多角的に考察でき、自身の意見を持つことができる 3.社会問題の課題を明確化し、これに対する解決策を探求する力を養える

テキスト : なし

参考書 : にじいろ憲法 元井貴子（著）青山ライフ出版 2022/11/15

成績評価方法 : ミニレポート60%（各20%×3回）、テーマ研究40%

その他 : 憲法問題に関し考えることを中心に講義を進めていきます。考えたことをミニレポートで簡潔にまとめていただきますが、正解はありませんので、どのような考えでも構いません。憲法知識等がなくても十分に学べる内容ですので、興味のある方は履修してみてください。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月12日	1	駅前	元井貴子	拳法総論～憲法と命の関係について学ぶ～
2	9月12日	2	駅前	元井貴子	安楽死・尊厳死～憲法上の問題点を学び、自説を考える～
3	9月12日	3	駅前	元井貴子	赤ちゃんポストの問題①～現状を知る～
4	9月12日	4	駅前	元井貴子	赤ちゃんポストの問題②～憲法上の問題点を学ぶ～
5	9月12日	5	駅前	元井貴子	赤ちゃんポストの問題③～各自の考えを共有・検討する～ *ミニレポート1
6	9月13日	1	駅前	元井貴子	憲法9条の問題①～憲法改正に向けた議論を知る～
7	9月13日	2	駅前	元井貴子	憲法9条の問題②～憲法上の問題点を学ぶ～
8	9月13日	3	駅前	元井貴子	憲法9条の問題③～各自の考えを共有・検討する～ *ミニレポート2
9	9月13日	4	駅前	元井貴子	死刑制度①～憲法上の問題点を学ぶ～
10	9月13日	5	駅前	元井貴子	死刑制度②～各自の考えを共有・検討する～ *ミニレポート3
11	9月14日	1	駅前	元井貴子	テーマ研究①～各自で興味のある社会問題(テーマ)を選定～
12	9月14日	2	駅前	元井貴子	テーマ研究②～テーマにつき調査～

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	9月14日	3	駅前	元井貴子	テーマ研究③～資料にまとめる～
14	9月14日	4	駅前	元井貴子	テーマ研究④～研究内容の共有～
15	9月14日	5	駅前	元井貴子	テーマ研究⑤～研究内容の講評・ブラッシュアップ～

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 英語3
英語名称 : English 3
担当責任者 : 安田尚子
開講年次 : 4年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 英語IA,Bおよび英語II A,Bで習得した知識・スキルに基づいて、英語の総合的なコミュニケーション能力の向上を目指す。課題とプレゼンテーションを通して特にライティングとスピーキングの能力を高める。
この授業は4学科合同で行う。

学習目標 : 1. 基本的な表現を正しく発音し、その意味が理解できる。
2. 様々なテキストの主題を理解することができる。
3. 学術的な語彙、文法、文章構成を理解することができる。
4. 地域に必要な情報を英語で提供することができる。
5. 視覚情報や映像を用いて情報を英語で表現することができる。

テキスト : 教員がハンドアウトを準備する

参考書 : 参考書：適宜指示する

成績評価方法 : クラス活動25%、課題25%、中間・期末試験各25%

その他 : 今までに培った英語力を基に、書く・話すといったプロダクションレベルのメッセージ等を身につけていきます。また、自分の意見を相手にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力をグループワークを通じて磨きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Introduction: syllabus, etc.
2			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
3			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
4			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
5			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
6			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
7			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
8			駅前	安田尚子 久保田恵佑	review (class1-7)
9			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
10			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
11			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
12			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
14			駅前	安田尚子 久保田恵佑	Class Activity
15			駅前	安田尚子 久保田恵佑	review (class 9-14)

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : チーム医療Ⅱ（演習）【保健4】
英語名称 : Team-based Health Care II（Exercises）
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 4年前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必修

概要 : チーム医療の実践について学ぶ。チーム医療Ⅱでは、呈示された症例を元に医学部と看護学部の学生と共に、小グループに分かれて、自分の職種は何が出来るか、何をすべきかについて討論する。そしてグループ毎に発表する。呈示する症例としては、多彩な症状を呈している、または多様な問題を有しているため診断や治療に多職種で関わる必要がある患者とする。

学習目標 : (1) チーム医療の目標を説明できる。
(2) チームメンバーと円滑なコミュニケーションを図ることができる。
(3) 各医療職種の専門性、役割および責任を説明できる。
(4) 症例に対して各医療職種が取り組むべき問題点を明確化し、自身の役割と仕事を説明できる。
(5) チーム医療の立場から医療を考え、メンバーと連携して問題解決ができる。
(6) Team STEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety)を体験し、チーム医療の重要性を理解できる。

テキスト : 特定のテキストはありません。

参考書 : 川村治子、『医療安全ワークブック（第4版）』、医学書院、2018

成績評価方法 : レポート80%、教員によるグループ評価20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月19日	1	駅前	種田憲一郎 (国立保健医療科学院) 保健科学部教員 看護学部教員	2学部(看・保)5学科の学生 Team STEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety)演習
2	9月19日	2	駅前	種田憲一郎 (国立保健医療科学院) 保健科学部教員 看護学部教員	Team STEPPS演習
3	9月19日	3	駅前	種田憲一郎 (国立保健医療科学院) 保健科学部教員 看護学部教員	Team STEPPS演習
4	9月19日	4	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	症例供覧(全グループ同じ症例) 学科毎のディスカッション
5	9月19日	5	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	グループ内自己紹介・職種紹介 グループディスカッション
6	9月19日	6	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	グループディスカッション
7	9月20日	1	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	発表資料作成 発表&質疑応答
8	9月20日	2	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	発表&質疑応答
9	9月20日	3	駅前	保健科学部教員 看護学部教員	振り返りと意見交換
10	9月24日	1	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	3学部(医・看・保)6学科の学生 症例供覧 グループディスカッション
11	9月24日	2	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	グループディスカッション
12	9月24日	3	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	グループディスカッション 発表資料作成

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	9月24日	4	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	発表 & 質疑応答
14	9月24日	5	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	発表 & 質疑応答
15	9月24日	6	駅前	保健科学部教員 医療人育成・支援センター教員 看護学部教員	現場のカンファランス見学 (実際の多職種でのカンファランスを見て、学ぶ。大学病院編) 見学後の意見交換

担当教員

- ・保健科学部：矢吹省司 森下慎一郎 阿部浩明 星真行 佐藤聡見（理学療法学科） 五百川和明 倉澤茂樹 林博史 川又寛徳（作業療法学科） 高橋規之 福田篤志 佐藤久志（診療放射線科学科） 小川一英 豊川真弘 鈴木英明 高橋一人（臨床検査学科）
- ・看護学部：和田久美子 菅野久美 大川貴子 片桐和子 古溝陽子 吾妻陽子
- ・医療人育成・支援センター：大谷晃司 亀岡弥生 安田恵
- ・国立保健医療科学院：種田憲一郎

科目名 : 卒業研究
英語名称 : Graduation Research
担当責任者 : 五百川和明
開講年次 : 4年 通年期 4単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 作業療法研究法演習で学んだ研究のステップに基づき、担当教員の指導の下で研究計画を立案、実行し、その結果をまとめ、結果から得られた知見を整理し、報告するまでの一連の研究技能を習得することを目指す。

内容としては、担当教員の指導の下で、研究計画に基づいた実験や計測、介入等を行い、計測データの収集、データの統計的解析及び研究仮説の検証を行う。さらに、研究成果を卒業研究発表会で発表し、最終的には卒業論文を作成する。この一連の研究過程の実践を通して、科学的思考や生涯にわたって研究、学習する姿勢を身に付ける。

学習目標 :
1. 研究疑問を研究計画に変換することができる。
2. 研究計画に基づき、研究データを収集できる。
3. 研究結果をまとめ、研究仮説の検証ができる。
4. 研究発表ができる。
5. 卒業論文を作成できる。

テキスト : ・福原俊一：臨床研究の道標，第2版（上下巻），認定NPO法人健康医療評価研究機構

参考書 : ・友利幸之助、京極真、竹林崇：作業で創るエビデンス，医学書院

成績評価方法 : レポート100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
			福島駅前キャンパス	五百川和明、林博史、倉澤茂樹、曾根稔雅、澄川幸志、藤田貴昭、川崎伊織、浅尾章彦、石川陽子、川又寛徳、三橋佑平、木村夏実、田中善信、小笠原牧、松本大典（作業療法学科）	研究計画の立案 ①疑問の構造化, ②文献研究, ③疑問のモデル化, ④測定的设计, ⑤研究の型の選択, ⑥交絡とバイアス, その対処, ⑦倫理的配慮
			福島駅前キャンパス	同上	研究計画書の作成 研究活動の実施
			福島駅前キャンパス	同上	研究の中間まとめと後半の研究計画の検討 研究活動の実施
			福島駅前キャンパス	同上	研究結果のまとめ、統計解析、研究仮説の検証
			福島駅前キャンパス	同上	発表資料の作成、研究論文の執筆 研究発表

科目名 : 作業療法総合演習
英語名称 : General Exercises in Occupational Therapy
担当責任者 :
開講年次 : 4年 後期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必須

概要 : これまで学習してきた作業療法の実践に必要な専門基礎科目や専門科目の知識を統合し、作業療法の高度な臨床実践への応用につながる知識を得る。また、生涯に渡り専門職として質の高い作業療法を提供するために必要な主体的な学習を継続する能力の習得を目指す。グループによる作業療法の臨床事例の検討を通して各疾患の病態と障害を理解するとともに、チーム医療における各職種との理解と役割、リハビリテーション目標、必要とされる作業療法評価、予後予測と目標設定、エビデンスに基づいた作業療法プログラム等について理解を深める。

学習目標 : 1. 作業療法事例検討を通して実践的、応用的知識を深める。 2. 生涯に渡って専門職として質の高い作業療法を提供するために必要な主体的に学習を継続する能力を習得する。

テキスト : なし（配布資料参照）

参考書 : 4年前期までの教科書

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート50%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	五百川和明（作業療法学科）	オリエンテーション 臨床事例検討 身体障害（運動器系疾患）
2			駅前	同上	臨床事例検討 身体障害（運動器系疾患）
3			駅前	同上	臨床事例検討 身体障害（神経系疾患）
4			駅前	同上	臨床事例検討 身体障害（神経系疾患）
5			駅前	同上	臨床事例検討 身体障害（内科系疾患）
6			駅前	同上	臨床事例検討 身体障害（内科系疾患）
7			駅前	石川陽子（作業療法学科）	臨床事例検討 精神障害（統合失調症）
8			駅前	同上	臨床事例検討 精神障害（統合失調症）
9			駅前	同上	臨床事例検討 精神障害（気分・感情障害）
10			駅前	同上	臨床事例検討 精神障害（気分・感情障害）
11			駅前	同上	臨床事例検討 精神障害（神経症性障害）
12			駅前	同上	臨床事例検討 精神障害（神経症性障害）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	臨床事例検討 発達障害（脳性麻痺）
14			駅前	同上	臨床事例検討 発達障害（脳性麻痺）
15			駅前	同上	臨床事例検討 発達障害（重度心身障害）
16			駅前	同上	臨床事例検討 発達障害（重度心身障害）
17			駅前	同上	臨床事例検討 発達障害（知的発達障害、自閉スペクトラム症）
18			駅前	同上	臨床事例検討 発達障害（知的発達障害、自閉スペクトラム症）
19			駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	臨床事例検討 老年期障害（フレイル、サルコペニア）
20			駅前	同上	臨床事例検討 老年期障害（フレイル、サルコペニア）
21			駅前	同上	臨床事例検討 老年期障害（認知症、うつ）
22			駅前	同上	臨床事例検討 老年期障害（認知症、うつ）
23			駅前	同上	臨床事例検討 老年期障害（摂食嚥下障害、低栄養）
24			駅前	同上	臨床事例検討 老年期障害（摂食嚥下障害、低栄養）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25			駅前	林博史（作業療法学科）	臨床事例検討 重複障害（脳血管疾患と内科疾患）
26			駅前	同上	臨床事例検討 重複障害（脳血管疾患と内科疾患）
27			駅前	同上	臨床事例検討 重複障害（精神疾患と認知症、ほか）
28			駅前	同上	臨床事例検討 重複障害（精神疾患と認知症、ほか）
29			駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	臨床事例検討 地域在宅者支援（閉じこもり）
30			駅前	同上	臨床事例検討 地域在宅者支援（閉じこもり）

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 臨床技能実習Ⅲ
英語名称 : Practice of Clinical Skills III
担当責任者 : 川崎伊織
開講年次 : 4年前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必修

概要 : 臨床実習Ⅴで求められる、一連の作業療法介入プロセスに関する知識、技術及び態度に関する統合的理解と技術の習得を目指す。内容としては、3年次までに学修してきた知識や技術を再確認・整理しながら、臨床事例を基に作業療法評価及び介入の視点、作業療法プロセス、臨床推論、作業の治療的意味、作業療法介入に必要な技術、態度を学ぶ。臨床実習Ⅴの後は実習経験の振り返りを行う。さらに、臨床実習Ⅳ・Ⅴの学習状況を客観的臨床能力試験（OSCE）で確認する。授業はグループを構成し、作業療法評価及び介入に関する演習および実習を行う。

学習目標 : 1) 作業療法評価及び介入の視点、作業療法プロセス、臨床推論、作業の治療的意味に関して説明できる。
2) 作業療法介入に必要な技術、態度を身につける。

テキスト : 3年次までに活用したテキスト

参考書 : なし（配布資料）

成績評価方法 : 客観的臨床能力試験70%、レポート30%

その他 : 1) 客観的臨床能力試験では各項目で60%以上の得点で合格とする。
メッセージ等 : 2) 客観的臨床能力試験に不合格となった場合、1週間後に再試験を1回に限り実施する。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1		1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	【実習前】オリエンテーション 臨床実習Ⅴの学習目標
2		2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	学生に求められる知識・技術・態度
3		3	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅴでの達成目標立案（演習）（施設情報の収集）
4		4	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅴでの達成目標立案（演習）（目標設定）
5		5	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅴでの達成目標立案（演習）（実習前学習計画）
6		1	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅴでの達成目標立案（演習）（学習資料収集）
7		2	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 対象者のニーズの聞き取り
8		3	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 対象者の生活歴の聞き取り
9		4	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 対象者と家族の心理状態
10		5	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 信頼関係構築に必要なスキル
11		1	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業療法評価、介入の視点
12		2	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業療法のプロセス、臨床推論

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13		3	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業の治療的意味（達成感、有能感、自己効力感）
14		4	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業の治療的意味（身体機能）
15		5	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業の治療的意味（精神、心理機能）
16		1	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業の治療的意味（生活機能）
17		2	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業の治療的意味（社会活動、参加）
18		3	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例演習（グループ演習、実習） 作業の治療的意味（集団力動、家族関係）
19		1	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	【実習後】 臨床実習Ⅴ達成目標の振り返り（演習）
20		2	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	作業療法の臨床推論（グループ演習）
21		3	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	作業の治療的意義（グループ演習）
22		1	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例報告について
23		2	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例報告書作成（テーマの焦点化、情報整理）
24		3	駅前	川崎伊織・木村夏実・小笠原牧・松本大典（作業療法学科）	事例報告書作成（文献検討、考察、まとめ）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25		1	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・曾根稔雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧	客観的臨床能力試験 実践的臨床技能（作業療法評価、治療介入、作業療法臨床推論）
26		2	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・曾根稔雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧	客観的臨床能力試験 実践的臨床技能（作業療法評価、治療介入、作業療法臨床推論）
27		3	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・曾根稔雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧	客観的臨床能力試験 実践的臨床技能（作業療法評価、治療介入、作業療法臨床推論）
28		1	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・曾根稔雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧	客観的臨床能力試験 実践的臨床技能（作業療法評価、治療介入、作業療法臨床推論）
29		2	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・曾根稔雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧	客観的臨床能力試験 実践的臨床技能（作業療法評価、治療介入、作業療法臨床推論）
30		3	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・曾根稔雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧	客観的臨床能力試験 実践的臨床技能（作業療法評価、治療介入、作業療法臨床推論）

科目名 : 作業療法発展領域論
英語名称 : Current Topics in Occupational Therapy
担当責任者 :
開講年次 : 4年 後期 1単位 授業形態 : 広義
必修・選択 : 選択

概要 : 作業療法の新たな発展領域として期待されている認知症リハビリテーション、リハビリテーション工学、特別支援教育、司法、行政機関、脳科学系、がんなど各研究分野、さらに起業など幅広い分野で活躍する医師や作業療法士から、各分野・領域での作業療法の役割と有用性、将来展望について学ぶ。さらに、医療・保健・福祉の枠を超えた新たな分野の作業療法の取り組みや作業療法のさらなる可能性について学ぶ。

学習目標 : 1. 作業療法の発展領域と作業療法の有用性について理解する。 2. 作業療法の発展領域の将来展望について考察できる。

テキスト : なし

参考書 : なし

成績評価方法 : レポート100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	林博史（作業療法学科）	作業療法の可能性、発展領域
2			駅前	同上	新たな認知症リハビリテーション
3			駅前	浅尾章彦（作業療法学科）	リハビリテーション工学系分野における作業療法の役割
4			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	特別支援教育分野における作業療法の役割
5			駅前	鶴見隆彦（湘南医療大学）	司法分野における作業療法士の役割
6			駅前	石橋裕（東京都立大学）	行政機関における作業療法
7			駅前	川崎伊織（作業療法学科）	脳科学系研究分野の作業療法
8			駅前	林園子（一般社団法人ICTリハビリテーション研究会）	生活用具における作業療法の視点
9			駅前	同上	ICTと作業療法
10			駅前	岡本宏二（一般社団法人ふくしまをリハビリで元気にする会）	アニマルセラピーにおける作業療法の視点
11			駅前	同上	保育と作業療法
12			駅前	中村美緒（国立リハビリテーション研究センター研究所）	リハビリテーション研究機関で働く作業療法士（ロボット）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	同上	リハビリテーション研究機関で働く作業療法士（福祉用具機器評価）
14			駅前	華井明子（国立がん研究センター中央病院）	がん研究最前線で働く作業療法士
15			駅前	同上	がん研究最前線で働く作業療法士

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 地域作業療法学実習
英語名称 : Practice of Community-based Occupational Therapy
担当責任者 : 川又寛徳
開講年次 : 4年 後期 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 選択

概要 : 地域作業療法学、地域作業療法学演習で学んだ知識・技術をもとに、様々な健康課題を抱えて地域で生活する対象者への作業療法プロセスの経験を通して、実際的な地域住民活動の支援ができることを目指す。内容としては、週1回1日6時間、計5回の実習を行い、実習内容の報告を行う。実習にあたり、担当教員は各事業所との調整及び学生指導を行うが、学生が主体的に保健師やケースワーカー等に関わり、指導者の指導・監督の下、学生の習熟度や対象者の安全面を考慮した上で、地域の健康課題を解決するために作業療法評価、計画、支援を実施する。

学習目標 : 1) 福島県内で実践されている地域住民の介護予防事業等において、各事業目的に沿った作業・余暇活動等を提供する。
2) 上記1の成果をまとめ、効果的に発表する。

テキスト : ○地域作業療法学 作業療法学全書 第13巻 改訂第3版 協同医書出版

参考書 : ●地域に根ざした作業療法 理論と実践 ScaffaME (山田孝・監訳) 協同医書出版

成績評価方法 : レポート100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1		1	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	オリエンテーション
2		2	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	事前準備：実習先の事業目的の確認
3		3	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	事前準備：実習計画の立案
4		1	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
5		2	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
6		3	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
7		4	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
8		5	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
9		6	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
10		1	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
11		2	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
12		3	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13		4	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
14		5	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
15		6	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
16		1	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
17		2	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
18		3	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
19		4	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
20		5	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
21		6	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
22		1	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
23		2	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
24		3	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	10月22日	4	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
26	10月22日	5	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
27	10月22日	6	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
28	10月29日	1	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
29	10月29日	2	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
30	10月29日	3	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
31	10月29日	4	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
32	10月29日	5	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
33	10月29日	6	実習施設	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	地域実習 ・1日6時間、5回
34	11月5日	1	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表準備
35	11月5日	2	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表準備
36	11月5日	3	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表準備

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
37		4	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
38		5	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
39		6	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
40		1	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
41		2	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
42		3	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
43		4	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
44		5	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	発表
45		6	駅前	川又寛徳、倉澤茂樹、小笠原牧、田中善信、松本大典	まとめ

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 臨床実習Ⅴ
英語名称 : Clinical Practice Ⅴ
担当責任者 : 五百川和明
開講年次 : 4年前期 8単位 授業形態 : 実習
必修・選択 :

概要 : 本実習は対象者への一連の作業療法プロセスの経験を通して、作業療法士としての基本的臨床技術、臨床推論、態度の習得を目指す。内容としては、対象者の治療方針やリハビリテーションゴールを基に、作業療法評価から作業療法治療介入の一連の実践過程を経験する。学生は臨床実習指導者の指導・監督の下で、指導者が行う治療の補助を通し、作業療法評価や治療の過程における基本的臨床技術や臨床的思考過程・推論等を学ぶ。さらに、各実習施設の地域医療の役割に即した作業療法についても学ぶ。

本実習は、4年次前期の8週間の臨床実習であり、各障害領域の施設で実施する。教員は学生の実習状況を確認し、学生への教育指導に加え、実習指導者への実習指導に関する教育的な助言や調整を行う。担当教員は定期的に学生および実習指導者と連絡をとって指導するとともに現地巡回を行って指導する。本科目は、本学部がキーワードとしている「地域医療」に関連する科目である。

学習目標 : 1. 対象者の治療方針やリハビリテーションゴールを基に、作業療法評価や治療の過程における臨床的思考過程・推論について、指導者の考えを理解し、説明することができる。
2. 対象者への一連の作業療法プロセスを通して、対象者にとって意味のあるの作業を考察し、作業療法の意義を説明することができる。
3. 臨床実習指導者の作業療法治療場面の一部を補助することができる。対象者に必要な作業療法介入について、指導者の考えを理解し、説明することができる。

テキスト : ・臨床実習共通要綱、臨床実習Ⅴ要綱

参考書 : ・3年次までに使用した教科書
・必要に応じて紹介する

成績評価方法 : 実習報告書60%、症例報告（発表及び報告書）20%、ポートフォリオ20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1 週 目			臨床実習施設	臨床実習指導者（各実習施設）、五百川和明、倉澤茂樹、曾根稔雅、澄川幸志、藤田貴昭、浅尾章彦、川崎伊織、石川陽子、川又寛徳三橋佑平、小笠原牧、田中善信、木村夏実、松本大典（作業療法学科教員）	オリエンテーション、施設内各部署業務見学、作業療法場面（評価、治療）見学
2 ～ 6 週 目			臨床実習施設	同上	作業療法評価実施、作業療法治療場面補助、多職種カンファランス、等教員訪問指導
7 ～ 8 週 目			臨床実習施設	同上	作業療法治療場面補助、まとめ

* 実習開始前学内オリエンテーションや実習後の報告会などは別途日程で実施する。